

コード	402070402
記入日	H23.11.10

事務事業事前評価表

課コード	115
課名	農林課
課長名	幹保孝
担当者	古川利久

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	森林再生モデル事業
----------	-----------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 25 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	2
基本事業コード	40207	基本事業名称	林業の環境整備	目コード	2
事務事業コード	4020704	事務事業名称	造林事業費	細目コード	130
関連計画	法令・条例規則等				

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標			
(対象1) 町民	(対象指標1) 22,671人□H23.9月末現在)			
(対象2)	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標			
<p>・ 事前に林内調査を実施し、荒廃が進んでいる箇所の天然林（本町森林面積の6割占める）の伐倒（断幹）。伐倒した枝、幹で断幹した木を覆い鹿からの防護をしながら、再度芽を出させる更新型の施業とする。林内へより多くの光が入るように伐倒木については、間隔を適当にあげるようにする。伐倒する木については、常緑樹を中心とした木とし、落葉木、特にどんぐりのなる木、つばきについては、伐倒しないで断幹・整理伐を実施する。</p>	(活動指標名称)	(活動指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
	① 除伐（伐倒）回数	3回	除伐等実施回数+除伐等計画回数	平成25年度
	② 除伐（伐倒）面積	25ha	除伐等実施面積+除伐等計画面積	平成25年度
③				
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標			
<p>・ 天然林の伐倒を行い、森林内に光をあてることにより下草や新しい雑木の生長を促す。生長により山林のもつ公益的機能の回復、増進を目的とする。また、高木化を低木化することにより、風倒被害を未然に防ぐ。伐倒する選木は常緑樹を中心に行っていることから落ち葉による腐葉土層の回復を行う。</p>	(成果指標名称)	(成果指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
	① 進捗率	100%	実施事業費+計画事業費	平成25年度
	② 進捗率	100%	実施事業費+計画事業費	平成23年度
③ 公表	1.0式	調査・検証結果の公表	平成25年度	

実施 (DO)

	単位	全体計画	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		H 23 ~ H 25							
活動指標	回	3	1	1	1				
	ha	25	5	10	10				
成果指標	%	100	20	40	40				
	式	1.0			1.0				
総事業費 C (A+B)	千円	5,850	1,450	2,200	2,200				
直接事業費 A	千円	3,750	750	1,500	1,500				
人件費 B	千円	2,100	700	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.3	0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円							
	県補助金	千円							
	起債	千円							
	その他	千円							
一般財源	千円	5,850	1,450	2,200	2,200				

評価 (CHECK)

評価項目		内 容
1 次 評 価	事業の緊急性・必要性	町内の森林は荒廃が広い面積で進んでいる。効果の有無を調査するためにも早期の取り組みが必要である。効果があり必要性が確認された場合、このような事業の大規模な取り組み（国県事業の確保）が可能になる。
	類似事業との関連	類似事業はない。
	費用対効果	3年間で実施したモデル地区の追跡調査を行い、伐倒木の更新状態や下草の生長状況を検証する。その他環境に及ぼす影響を調査検討し、公表する。

2次評価	荒廃が進んでいる天然林を再生し、山林の公益的機能の回復・増進させるため必要であると判断する。再生モデル事業として実施するにあたり、追跡調査や検証を行い、環境に及ぼす影響など公表すること。
------	---

住民等の意見	
町の対応	

事業採択結果	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
				事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				事業費を増額して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。